

まえがき

人生という名の旅

私たちは、みんな旅人です。人生という海を航海しています。凧のときや大時化のとき、または、船の具合が悪いとき、羅針盤が狂ってどこに向かっているのかわからないとき、いろんな場面にでくわし、必死で自分という船を操縦しています。旅の途中でたくさんの魂との出会いがあり、出会ってから船に乗り込んで一緒に旅することになる人々や、一瞬だけ同じ方角に向かい、また、離れていく人々、どこかの港で船を降りてしまう人々。すべて、縁のある魂です。出会えたことには必ず意味があります。奇跡とっていいほど素敵なことです。愛する人、大好きな人、尊敬できる人と出会えて幸せですね。反対に、嫌な思いをさせる人々も、なんらかの気づきというギフトを携えてやってきます。そのお勉強が終わると離れていきます。ずっと苦しめられるとか、一生離れられず嫌な思いをするの

ではないかな？ と渦中にいるときは思いますが、そんなことはありません。ご自分の中で「あ、これは私に気づいてなかったことを知らせる縁なんだな」と腑に落ちた瞬間から、道が離れていきます。

私たちは、輪廻転生の中で自分で選んだ一つひとつの旅を楽しんでいます。旅は楽しいものだと決まっている前提で生まれ出てきています。自分で計画をたてた、自分の旅行を楽しみましょう。

旅行に行くとき、お薬を用意したり、保険に入ったり、行先の天気を調べたりしますよね。高次元の存在とつながっているということは、人生という旅のお守りになります。裸でジャングルに行くよりも装備をして準備万端のほうが安全ですし、楽しめます。そんなふうに考えてくださいね。

たくさんの体験や感動の旅を安心して続けてください。行く先々で素敵な冒険が待っています。

人生という名の旅を安心して続けてよいのです。